

## 草津市歴史文化基本構想策定について

教育委員会事務局文化財保護課

### 1. 策定目的

本市には、史跡草津宿本陣をはじめとする国指定史跡や草津のサンヤレ踊り(日本遺産)などの民俗文化財のほか、数多くの文化財が保存・継承されてきています。

近年、文化財を取巻く環境は大きく変化してきており、国ではこれまでのように文化財の保存だけでなく、これからのまちづくりに活用することを各自治体に求めています。こうした状況を受け、文化財保護課では本市に残る指定・未指定にかかわらず全ての文化財をその周辺環境も含めて総合的に把握し、適切に保存・活用できるよう、「草津市歴史文化基本構想」(以下、構想という。)を策定するものです。

### 2. 策定スケジュール 【平成30年度予定】

開催時期	回数	審議内容
6月29日	諮問	草津市歴史文化基本構想策定について
	第1回	草津市歴史文化基本構想 ・章立て案検討 ・第1章案検討
8月中旬	第2回	草津市歴史文化基本構想 ・第2章～第4章案検討
9月下旬～ 10月上旬	第3回	草津市歴史文化基本構想 ・第5章、第6章案検討
12月上旬	第4回	草津市歴史文化基本構想 ・全章の検討
	答申	草津市歴史文化基本構想

年間工程表 別紙のとおり

### 3. 策定時のポイント

構想の策定にあたっては、草津市総合計画や各課で策定の諸計画と関連付けた検討を進めるとともに、「草津市歴史文化基本構想策定委員会」を設置し、内容について専門的見地等から調査・審議を行い、適正な構想策定を実施します。

#### 4. 策定体制について

草津市歴史文化基本構想策定委員会委員の構成等

任期：委員委嘱の日から草津市歴史文化基本構想の案を教育委員会に答申する日まで  
(定員 8 人以内)

設置根拠 草津市附属機関設置条例

担任事務 草津市歴史文化基本構想策定についての調査・審議に関する事務

定数 8 人以内

委員構成等 下記のとおり

	委員資格	委員氏名	経験等	備考(分野等)
1	(1)	金田章裕	京都大学名誉教授	景観・歴史地理学
2	(1)	岩崎奈緒子	京都大学総合博物館館長	歴史学
3	(1)	富島義幸	京都大学准教授 草津市文化財保護審議会委員	建築学・都市計画
4	(1)	中井均	滋賀県立大学教授 草津市歴史文化基本構想事前調査 業務担当	考古学・史跡整備
5	(1)	高梨純次	元滋賀県立近代美術館学芸課長	美術工芸
6	(2)	片山恵泉	—	市民代表
7	(2)	麻植美弥子	—	市民代表
8	(3)	岸本修一	草津市まちづくり協議会(老上西)	まちづくり

委員資格者

(1)学識経験を有する者

(2)公募市民

(3)その他教育委員会が必要と認める者

## 5. 庁内ワーキンググループ・関係団体構成について

構想の検討にあたり、必要に応じ下記庁内ワーキンググループ・関係団体に意見聴取等を行う。

庁内ワーキンググループ
危機管理課
まちづくり協働課
商工観光労政課
農林水産課
健康福祉政策課
都市計画課
都市再生課
開発調整課
公園緑地課
生涯学習課
草津宿街道交流館
学校教育課

関係団体
まちづくり協議会
観光物産協会
ボランティアガイド協会